

地域再生計画（道整備交付金）事後評価調書

都道府県名	三重県	事業実施主体	三重県、紀宝町	地域再生計画名	紀宝町「道路ネットワークの整備による安心・安全な住み良いまちづくり計画」
計画期間	平成27年度～令和3年度	評価責任者	紀宝町基盤整備課長 後 信博		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数	達成数					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	道路ネットワークの整備による住宅・店舗等の建築物の増加（住宅・店舗等の建築物数）	0件	H26	110件	H29	162件	220件	R3	353件	○	3	2	道路ネットワーク等の整備により、住宅・店舗等の建築物が増加し、目標値を上回った。
	指標2	林業の振興と森林整備の促進（間伐森林面積）	0ha	H26	16.60ha	H29	28.39ha	33.19ha	R3	94.2ha	○			林道整備等により、間伐が計画的に実施され、目標値を上回った。
	指標3	地域内の入込観光客数の増（入込観光客数）	250千人	H26	275千人	H29	245千人	300千人	R3	208千人	×			新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、観光客数が減少したため、目標値を下回った。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
指標2														
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度（H29）	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備延長）	10.895km	3.4km	11.365km	幹線道路の整備や生活道路の改修等を実施したことにより、生活環境の改善が図られ、地域内への住宅・店舗等の建築物が増加し、目標値を上回った。しかし、新型コロナウイルスの影響により入込観光客数については減少する結果となり目標値を達成できなかった。									
	林道整備事業（整備延長）	1.377km	1.3km	1.377km	林道整備が実施され利便性が向上したことにより森林の間伐が積極的に実施され、目標値を大きく上回り、整備の効果が表れている。									
その他の事業	防災・安全交付金事業	橋梁の修繕耐震補強 幹線道路の整備 橋梁点検健全度診断	6橋 1路線 全橋梁	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁修繕・耐震補強及び道路施設の老朽化対策等を実施することで、道路施設の予防的修繕と計画的な更新による安心・安全な道路ネットワークが構築され、事業は効果的に実施されたと考えていることから、今後も引き続き事業を進めていきたい。										
	社会資本整備総合交付金事業	幹線道路の整備	1路線	主要幹線道路を整備することで、道路ネットワークと安全な道路空間の構築による安心・快適で活力あるまちづくりが構築され、事業は効果的に実施されたと考えていることから、今後も引き続き事業を進めていきたい。										
	県営中山間地域総合整備事業	農道整備 集落道整備 農業用排水施設の整備	6路線 2路線 1地区	農道及び集落道等の整備により、農業生産の増大と生活水準の向上が図られたとともに、町道・林道・農道の道路ネットワークの整備による安心・安全な住み良いまちづくりが構築されたため、事業は効果的に実施されたと考えていることから、今後も積極的に事業を推進していきたい。										
	辺地対策事業	農道整備 営農雑用水施設の整備	1路線 1地区	交通条件や自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれていない山間地等の辺地地域において、総合整備計画に基づき公共施設等の整備を行うことで、地域住民の利便性が向上し、安心・安全な住み良いまちづくりが構築され、事業は効果的に実施されたと考えていることから、今後も引き続き事業を進めていきたい。										
	若者定住促進事業	町有地分譲事業	3地区	移住・定住促進のための町有地分譲を実施することで、若者定住による地域の活性化を図られ、事業は効果的に実施されたと考えていることから、今後も積極的に事業を推進していきたい。										
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	各地区の地元住民代表者に対し事業実施状況を説明し、最終実績値の達成状況に関する評価を行った。													
⑤事後評価の公表方法	紀宝町のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した町道と林道の一体的な整備により、森林の適正管理の推進と災害時の迂回路の確保、及び生活道路ネットワークの強化を図り、安心・安全な住み良いまちづくりを進めるとともに、防災・安全交付金、社会資本整備総合交付金、中山間総合整備事業等を活用しながら、町道、農道、林道、排水路、橋梁等、道路ネットワークの一体的な整備を行い、また道路施設の老朽化対策も実施し、住民の安心・安全な生活道路の整備と産業の活性化が図られたことから、地域再生計画の目標である「道路ネットワークの整備による安心・安全な住み良いまちづくり」が概ね達成できたと思われま。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備が進み、道路ネットワークの整備により住宅・店舗等の建築数では目標が達成された。また、町道・林道の一体的な整備により森林の適正管理がなされ計画的な間伐の実施により目標が達成された。このため、今後は他事業を活用しながら引き続き、道路ネットワークの整備を鋭意進めていきたいと考えております。しかし、一方では新型コロナウイルスの影響により地域内の入込観光客数が減少しているため、飛雪の滝キャンプ場のコテージ、直売・集客交流施設やウミガメ公園を観光拠点とし、イベントを計画するなど、入込客数の回復・増加に向けて取り組んでいきたいと考えております。													